

弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

vol.27

# ニュース・レター

～広がる つながる 支援の輪 想いをつなぐ パブリック～

CONTENTS 目次 2018.7.25

● ともになやみ ともにいきる	P1
● 日弁連副会長を終えて	P2
● 岡山経済の発展に貢献できる弁護士を目指して	P2
● 不思議な縁	P2
● お米みたいな人になりたい。	P2
● 大きな踏み応えのある踏み石の一つになりたい。	P3
● どっぶり後見業務	P3
● セイネンコウケンの「セ」の字からのスタート	P4
● しっかりと思いをお聴きしたい。	P4
● 社会福祉士を取得して	P4

## ともになやみ ともにいきる

 所長 たかぎ のりかず 高木 成和

平成29年10月1日から当事務所の所長に就任しております高木成和と申します。

私は、平成14年10月に弁護士登録し、当事務所が設立された平成16年8月23日の約1年半後の平成18年4月から当事務所にて仕事をさせていただくようになりました。そして、平成19年4月から開設された津山支所に同支所長として赴任して10年以上が経ってしまいました。私は、話し下手ですし、目立つのが大嫌いで自己アピールが苦手ですし、何より能力、経験及び人格のいずれの点においても歴代の所長の方々に遠く及ばず、誰かに誇りたくなるような仕事ができただけでなく、所長として力不足であることは十二分に自覚しております。就任から8か月が経過しましたが、「所長らしさ」が全く身につかず、毎日右往左往しておりますが、上尾洋平副所長、尾崎力弥副所長を始めとして、当事務所のスタッフに支えてもらいながら、何とか何とか寝返りやハイハイを練習している状態です。

さて、紙面をいただくのは大変恐縮なのですが、あまりお話する機会がないので、私のライフストーリーを少しだけ書かせていただきます。

私は、昭和50年に岡山県笠岡市山口という結構な田舎で生まれ、母が3歳のときに他界したので、祖母と父と2つ上の姉や親戚に育ててもらいました。地元の新山小学校、新吉中学校、笠岡高等学校を卒業し、特にやりたいことがあったわけでもないうちに入社して入学しました。

しかし、上手に大学に適應することができず、映画館や図書館に現実逃避していましたが、ひょんなことから司法試験の勉強を始め、大学を休学したり復学したりして、父や祖母に大変な迷惑をかけながら7年間も大学にいました。文学部の日本語教育専攻というゼミで青木直子先生に一生返し切れないくらいの恩を受けながら、「Our-method, My method: 日常的会話のエスノメソドロジーとそのメタ分析」という恥ずかしすぎて破りたくなるような卒業論文を書き、幸運にもその年に司法試験に合格することができました。

その後、私は、司法修習（1年間の実務修習は札幌）を経て、平成14年に岡山市内で弁護士登録をし、平松・木津法律事務所での弁護士としての仕事を始め、平松敏男先生と木津恒良先生をはじめとする先生方から弁護士業務の基礎をご指導いただきました。私は、日本語教育専攻で出会った人々や学んだことの影響もあり、弁護士登録した頃は少年事件、外国人事件、セクシャルマイノリティの事件をライフワークとしたいと考え、たくさんの人たちと出会わせていただきました。また、その頃は、仕事も大好きで全力投球する一方で、ライブハウスに行っては最前列で暴れたり、週7本以上映画館で映画を観たり、2年に1回開催される山形国際ドキュメンタリー映画祭に1週間ものお休みをいただいて行ったりと、かなり自由な時間を過ごさせていただきました。

そして、平成15年度から岡山弁護士会の公設事務所設置検討委員会に配属させていただき、当事務所の設立準備に関与させていただいたご縁もあり、平成18年4月から当事務所に入所しました。その後、平成19年から被疑者国選弁護の対象事件が拡大されることに伴い、県北の刑事事件対応を充実させること等を目的として、同年4月から当事務所の津山支所を開設することになり、入所して間もなかった私が津山支所長として津山に赴任することになりました。特に任期があったわけではありませんが、最初は津山にこんなに長期間いるとは思っていませんでした。しかし、津山では、後見事件等を通してたくさんの人たちと出会い、戸籍制度と一体となった婚姻制度に反対している思想だったにもかかわらず、津山で出会ったパートナーと結婚し、パートナーとの間に平成25年に長女が、平成30年に長男が生まれ、すっかり津山に愛着がわいてしまいました。また、福祉職の皆さんと協働して事件に取り組む中で私自身の「家族」へのまなざしも変わってきて、自分だけのたのしみの時間よりも、私が生きていていい理由を与えてくれた「家族」とのかげがえのない時間をできるだけ大切にしたいと思うようになりました。

以上のとおり、まだ弁護士になってわずか15年であり、これといった「実績」もない私ですが、自分が無知であることを自覚して、私を選んでくれた目の前の依頼者の方との時間を共有しながら、その方やその方の大切な人達の悩みや生きづらさが、ほんの少しでも、ほんの一時でも、和らいでもらえるような仕事をしていきたいと思っています。そして、当事務所の所長として、当事務所が、依頼者の方やその依頼者の関係者の方々と、当事務所の弁護士とも福祉専門職とも事務員とも、「ともになやみ、ともにいきる」事務所になれるように頑張っていきたいと思っています。

「所長らしさ」に欠ける所長が就任してしまった当事務所ですが、これからも、当事務所を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 日弁連副会長を終えて

よしおか こうすけ  
弁護士 吉岡 康祐

平成29年度日弁連副会長を終えて、平成30年4月から、岡山パブリックに復帰した吉岡康祐です。42期、弁護士29年目になります。

パブリックには平成29年1月に入所しましたが、昨年度は、すぐ東京に行き日弁連の仕事だけをしていたような状況でしたので、本業の弁護士業務は久しぶりです。まだ法律相談も少なく、徐々に体と頭を慣らしながら、パブリックに馴染んでいきたいと思っています。

勤務場所は岡山大学内支所です。みどり法律事務所時代とは異なり、裁判所や弁護士会館が遠くなって不便を感じますが、大学内の雰囲気は大変気持ちがよく、新鮮な気持ちで仕事ができそうです。

これまで培ってきた経験を活かしながら、新たな気持ちで弁護士業務に邁進したいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 岡山経済の発展に貢献できる弁護士を目指して

あびこ としや  
弁護士 安彦 俊哉

はじめまして、弁護士の安彦俊哉と申します。

出身は京都ですが、岡山には前職の損害保険会社時代及び法科大学院時代を合わせ、通算で10年くらい住んでいます。金融の知識を生かし、岡山経済の発展に貢献できる弁護士を目指していきたいと思えます。

また、岡山パブリック法律事務所の目的の一つに「法曹養成のための支援」というのがあります。現在、岡山大学法科大学院はOATCという組織を立ち上げ、インハウスローヤーの育成に力をいれており、私自身、ビジネスマンであった経験を活かし、ビジネスに強いロイヤーの育成に貢献できればと考えています。

今後は、大勢の方から信頼される弁護士を目指して、日々努力を重ね、法律家としての能力だけでなく人間性も高めるよう努力してまいります。

## 不思議な縁

しおざわ ゆうき  
弁護士 塩澤 裕樹

平成30年1月から、津山支所で勤務しております、法テラス養成弁護士の塩澤裕樹と申します。

出身は長野県飯田市です。高校卒業後東京に8年間住み、高知県での1年間の修習を経て岡山にやってまいりました。津山は初めての土地ですが、好きな歌手であるB'zの稲葉浩志の故郷であること、親友が津山の出身であることなど、“不思議な縁”を感じていたもので、津山に赴任することに決まった後も不安はなくとても楽しみにしておりました。

趣味は映画を観ること、音楽を聴くこと、スポーツをすることです。今では見る影もないですが、柔道初段を有しており黒帯であること、高校時代にソフトテニス部の部長として、団体戦で県大会3位になったことは、過去の栄光です。その頃のスリムな体型を取り戻そうという決意を何度もしていますが、じわじわと太ってきているので、そろそろ本格的に運動を開始しようと思っています。

仕事については、勤務を開始してまだ日が浅く、勉強してきたこととの違いに戸惑うこともあります。目の前の事件に対し、全力で考え、学び、行動していく中で、依頼者の利益を実現できる弁護士へと成長していきたいと思えます。特に、後見の業務については岡山パブリック法律事務所の特徴的な分野であるので、偉大な先輩方からしっかりと学び、その考え方を少しでも自分のものにできるよう努力していきます。

私は、法テラスの養成弁護士という立場であるため、平成31年の1月には次の赴任地へと異動する予定です。1年間という短い期間ではありますが、日々全力で頑張りますので、よろしくお願いいたします。

## お米みたいな人になりたい。

ふじい あいさ  
弁護士 藤井 藍沙

はじめまして。平成30年1月より春日町本部において執務致しております、藤井藍沙と申します。春日町本部には、弁護士、社会福祉士、事務局合わせて30人以上もが勤務しています。そのような賑やかな環境において、事務員さんたちのお昼ご飯にこっそりと混ぜてもらって、幸せな毎日を過ごしています。

趣味はピアノを弾くこと、片付け・掃除です。ピアノは、3歳から始め、大学生までレッスンを受けていました。自分の人生で最も長く続けたことは、ピアノだと思えます。

好きな食べ物は、お米です。玄米、白米、雑穀米、何でも好きです。ご飯は腹持ちがいいし、卵、のり、ふりかけ等と組み合わせることで無限の楽しみ方ができます。お米は何とでも合うのです。私はお米みたいな人になりたいなと思えます。すなわち、どのような相手とでも合わせられ、決して自分を押し出すことなく、相手の良さを引き出す、そんな人になりたいです。(全体的に、

何を言っているのだ、と思われそうです。私も思います。)

修習中、弁護士として必要な能力は、言語化することだ、と教えられました。弁護士になった今、まずは、依頼者様のお話を丁寧に聞き、不安なこと、悩んでいることを共有させていただきたいです。そして、もやもやしたものを言語化しながら丁寧に解きほぐし、1番良い方法を一緒に考えさせてください。今後、一つ一つ丁寧に、そして全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 大きな踏み応えのある踏み石の一つになりたい。 社会福祉士 <sup>かんざき まさこ</sup> 神崎 昌子

私は4年前より、岡山パブリック法律事務所にて身上監護補助員として勤務させていただいております。そしてこの春やっと社会福祉士資格を得ることができました。

以前は、消費生活相談員として、岡山県消費生活センターや津山市の消費生活相談窓口にて消費生活相談員として働かせていただきました。悪質な訪問販売、多重債務、詐欺等で経済的に大きな問題を抱える方の被害を少しでも小さくできないかということに心づく日々でした。そうした中で、いつか私も成年後見に関わりたいと考えるようになりました。

人生とはなかなかうまくいかないのが常で、私は人生をうまく生きられない不器用な人間の一人だと思っているのですが、そうした人の生きるための何かの道具が踏み石のひとつにでもなりたい、というのが、私のテーマです。

さてそれでは、社会福祉士として何をするのかというと、現実的には戸惑ってばかりの自分がいます。大きな踏み応えのある踏み石になり、パブリック事務所に貢献したい、という目標を持って働ければと考えています。社会福祉士1年生としてフレッシュに活動したいという目標を持って働きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

## どっぷり後見業務 社会福祉士 <sup>はやした てつや</sup> 林田 哲弥

岡山パブリック法律事務所に入所してから、はや3年目となりました。私が今こうして働いているきっかけは、事務所の初代社会福祉士でもある大先輩と出会い、「自分も後見業務を仕事としたい!」という思いから始まりました。元々は精神科病院のソーシャルワーカーとして働いていましたが、今ではどっぷり後見業務に携わっています。入所した当時を振り返ってみると、法律事務所という新たな環境に慣れる間もなく、被後見人等の方々の自宅や施設を駆け回っていたことを記憶しています。また、大学院在学中で、修士論文の大詰め真っ最中だったこともあり、プライベートでもパタパタしていた時期でもありました。

私はカタカナの専門用語が苦手で、スムーズに頭に入ってきません。ソーシャルワークをはじめ、エンパワメント、アドボカシー…、社会福祉に関する用語はたくさんあると思います。「社会福祉士がそんなことを言っていて良いのか!」と怒られるかもしれませんが。もちろん、教科書的な用語の意味は理解して(いるつもりでは)いますが、実際の現場では一々考えて対応してはいません。しかし、自分の業務を振り返ってみると、少なからず苦手なカタカナ専門用語を、知識や技術として発揮できているかなと、漸くではありますが感じるようになっていきました。こんな私ですが、岡山パブリック法律事務所の社会福祉士として、よろしく願いいたします。

## セイネンコウケンの「セ」の字からのスタート 社会福祉士 <sup>やまもと ゆうぞう</sup> 山本 雄三

平成29年2月1日より勤務しております山本雄三と申します。前職は介護職員として介護施設で働いておりましたが、若くない年齢を考えもっと勉強して社会福祉士の資格を取ろうと考えました。大学の通信教育部へ3年次編入で入学したものの、福祉行政と福祉計画とは…地域福祉論とは…ソーシャルワーカーとは…など勉強をしても中々すんなりとは頭に入らずでしたが、その一方でテレビや新聞などのニュースで目にした「権利擁護」という問題を意識するようになりました。「権利擁護」とは言っても私自身あまり目の当たりにした事もなく、本当に漠然とした掴み所のない感覚で、成年後見はもちろん、子どもの貧困、生活保護、DV、虐待、ホームレスなど幅広く奥深いと言う位の認識しか持ち合わせていませんでした。そんな中、様々な出会いがあり岡山パブリック法律事務所でも働きたいとの思いから早々に介護職からの退職を決意しました。入職時はまだ社会福祉士の受験さえもしていない時期でしたが、結果として後見センター長である西尾弁護士ともども無事合格する事ができました。話が前後しますが、入職してからは本当にセイネンコウケンのセの字からのスタートで、弁護士の先生や社会福祉士の先輩方、事務局のみなさんに助けていただきながら何とか…という感じで、今でも日々勉強中ですが日々やりがいも感じています。成年後見人が選任され被後見人となられる本人の人生において、パブリック品質・パブリックブランドのもと、弁護士・事務局・社会福祉士が一つのチームとして、生涯にわたり共に歩んで行くとともに、親族や支援者・関係機関と協力しながら、地域や環境なども含めて多種多様な問題について解決を図ってまいります。私自身はまだまだ若輩者ですが、一つひとつの問題を丁寧に掘り下げながら問題の根底を掴み、解決していく事が出来るよう日々精進していきたくと思います。どうぞよろしくお願い致します。

## 📧 しっかりと思いをお聴きしたい。

社会福祉士 <sup>かじはら よしえ</sup> 梶原 好恵

2018年1月より春日町本部で勤務しております梶原好恵と申します。裁縫や大工仕事、調理など、身の回りの物を作るのが好きで「職人」という響きにあこがれる社会福祉士です。

これまでは、障害者福祉に携わっており、中でも自閉スペクトラム症を有する方々の支援については力を入れて取り組んできました。振り返ると今でも申し訳なくなるたくさんの失敗をしながら、ご本人やご家族、一緒に働く仲間に支えてもらい多くのことを教わりました。「聴くこと」「動機を大切にすること」「本人の立場に立って考えること」「変化をリードすること」など他にもたくさんあります。どれもいまだ十分には出来ていませんが、これからの後見業務の中でも変わらず大切にしていきたいと考えています。そして、被後見人に「理解しやすい形」にした情報を「分かりやすく」お伝えし、「安心できる環境」の中で、しっかりと思いをお聴きしたい。それはきっと、どなたにとっても必要な配慮だろうとも思います。

はじめての法律事務所、はじめての後見業務、戸惑うことも多く、出来ることもわずかですが、丁寧に取り組んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 📧 社会福祉士を取得して 後見センター センター長 後見専従弁護士・社会福祉士 <sup>にしお ふみえ</sup> 西尾 史恵

平成26年4月から私は後見専従弁護士に就任し、日々後見業務を行っていく中で、後見業務のプロを名乗るには、介護保険制度や医療制度等の福祉的な知識があまりに足りない！！と痛感するようになりました。

そのため、平成27年4月に日本福祉大学の通信教育部に入学し、平成29年の卒業する年に、社会福祉士の試験を受験し、無事合格することができました。

社会福祉士の勉強を通じて福祉に関する基礎的な知識は身についたため、本人の支援を考える際に、より広い視点で支援体制等を検討することができるようになりました。

そして、社会福祉士の業務たる相談援助の方法や技術を学んだことが何より大きな学びとなりました。

コミュニケーションには、言語的コミュニケーションのみならず、表情や身振り等の非言語的コミュニケーションがあり、他人から受け取る情報の6割から9割が非言語的コミュニケーションであることや、話を聞く態度にも、①受容②傾聴③共感等といった相手との信頼関係を形成して、相手が話しやすい工夫をすることが必要です。

また、社会福祉士の世界では、自分がどのような思考をもちやすいか等自分を知るための「自己覚知」であったり、「振り返り」といった作業を重視しており、常に改善していく努力が大切です。

さらに社会福祉士は、個別支援では不十分であったり、制度と制度の狭間で救われない人がいる時には、ソーシャルアクションを起こしていくことも求められています。

社会福祉士の勉強をする前の法律相談では、どうしても「要件事実」に目が行ってしまい、その人の痛みや悩みに寄り添うことまで目が行っていませんでした。

近年、一度過ちを犯してしまったり、外形や行動が少し変わったりしていると排除されがちな傾向がある中、社会福祉士として未熟ではありますが、法的な知識を生かしながら、生きづらさや生き直しに寄り添った支援をしていきたいと思っています。また、岡山パブリック法律事務所の強みを生かしてソーシャルアクションを起こしていける力を身に付けたいと思います。

## 弁護士法人 岡山パブリック法律事務所 .....

- 春日町本部…〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 TEL:086-231-1141 FAX:086-803-3677
- 後見センター…〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 TEL:086-206-5410 FAX:086-803-3677
- 津山支所…〒708-0062 岡山県津山市京町73-2 丹沢ビル2階 TEL:0868-31-0035 FAX:0868-31-0036
- 岡山大学内支所…〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1-1 (岡山大学文化科学系 総合研究棟1階) TEL:086-898-1123 FAX:086-898-1124
- 玉野支所…〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目17番5号 サニーセブンビル202 TEL:0863-33-6113 FAX:0863-33-6115

【福祉職の皆様へ】・・・無料相談のご案内

福祉職の皆様からの福祉的支援に関するご相談はいつでも無料です。

後見センター TEL(086)206-5410  
FAX(086)803-3677